

11 慢性腎臓病（CKD）対策

（１）現状と課題

慢性腎臓病（CKD：Chronic Kidney Disease）とは、糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症等の腎臓の働きが徐々に低下していく、様々な腎臓病の総称です。

具体的には、腎臓の働きが低下する（糸球体濾過量（GFR）が 60ml/分 1.73 m<sup>2</sup>未満）、あるいはたん白尿を認めるといった腎臓の障害が慢性的に認められる状態をいいます。

慢性腎臓病が進行すると、末期腎不全となって透析療法や腎移植が必要になることもあります。動脈硬化の危険因子としても重要で、慢性腎臓病である人はない人に比べて、脳卒中や心筋梗塞が発症する確率が高くなります。

加齢とともに腎臓の働きは低下しますが、その進行には生活習慣が関係していることもあり、早期からの生活習慣の改善や薬物療法の開始によって進行を抑えることが可能な場合もあります。

一方で、慢性腎臓病は、透析導入直前まで自覚症状が乏しいため、本人が気づかないうちに進行している人や、健診等で異常を指摘されても医療機関を受診していない人が多いと言われています。

① 慢性腎臓病の患者数

全国の推計患者の割合から、本県の慢性腎臓病の患者数は約 13 万人と推計されます。

表 1 全国及び青森県の患者推計数

推計患者	CKD 患者	出典
全国	約 1330 万人 (12.9%)	日本腎臓学会 CKD 診療ガイド 2018 による推計値
青森県	約 13 万人	全国の割合を基に青森県がん・生活習慣病対策課が推計 (令和 2 年国勢調査による 20 歳以上(年齢不詳除く。)人口 1,037,020 人から推計)

② 慢性透析の患者数と原因疾患

本県の令和 3 年度の慢性透析患者数（人口 10 万対）は 298.7 で、全国（284.8）よりも多くなっています。一方で、本県の新規透析導入患者数（人口 10 万対）は、令和 2 年度から令和 3 年度にかけて減少しています。

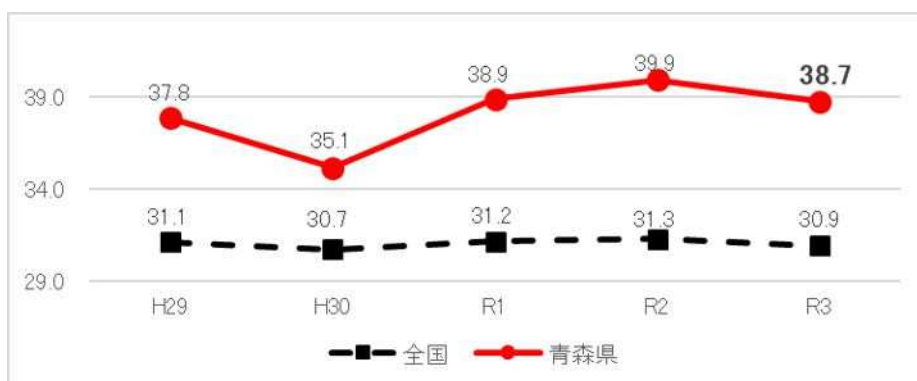
また、新規透析導入患者の原因疾患のうち、糖尿病性腎症は長年にわたり原因疾患の 1 位であり、その割合は、近年 40% 台で推移しており、糖尿病の合併症発症と重症化予防を中心に取組みを行う必要があります。

表 2 慢性透析患者数（人口 10 万対）

項目	青森県	全国
慢性透析患者数（R3）	298.7	284.8

資料：日本透析医学会 「わが国の慢性透析療法の現況」（2021）

図1 新規透析導入患者数の推移（人口10万対）



資料：日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」、厚生労働省「人口動態統計」

表3 青森県の新規透析導入患者における原因疾患の割合（単位：人）

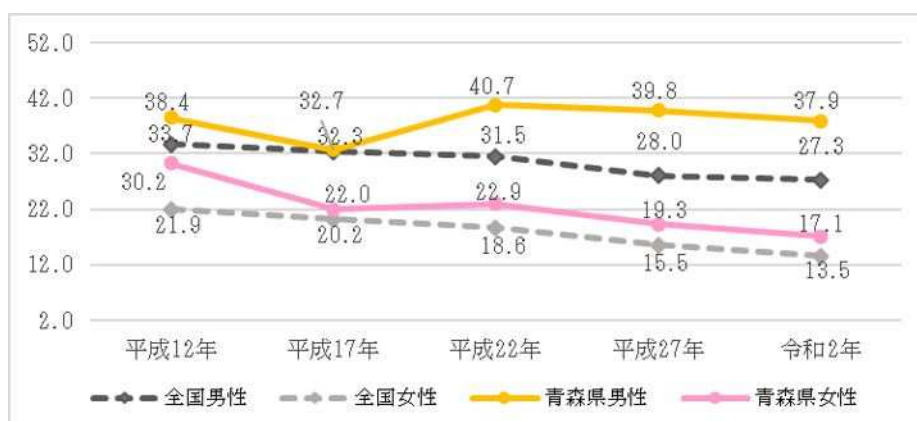
区分	H29	H30	R1	R2	R3
新規透析導入患者のうち 原因疾患に記入があった患者数 (A)	482	442	482	492	471
糖尿病性腎症の患者数(B) (B)/(A) × 100	45.6% (220)	42.3% (187)	43.6% (210)	42.9% (211)	40.3% (190)
(A)のうち 糖尿病性腎症以外の患者数(C) (C)/(A) × 100	54.4% (262)	57.7% (255)	56.4% (272)	57.1% (281)	59.7% (281)

資料：日本透析医学会 「わが国の慢性透析療法の現況」

### ③ 腎不全による死亡

本県の腎不全による年齢調整死亡率（人口10万対）は令和2年では男性37.9（全国27.3）、女性17.1（全国13.5）で、男女ともに全国を上回っています。

図2 腎不全による年齢調整死亡率（人口10万対）



資料：厚生労働省「人口動態統計」

## ④ 透析に係る医療提供体制について

本県で血液透析を実施している医療機関は、下記のとおりです。

二次保健医療圏	施設名	所在地	二次保健医療圏	施設名	所在地
津軽地域	1 弘前大学医学部附属病院	弘前市	西北五地域	32 つがる総合病院	五所川原市
	2 弘前中央病院	弘前市		33 白生会胃腸病院	五所川原市
	3 鷹揚郷腎研究所弘前病院	弘前市		34 浩和医院	五所川原市
	4 黒石厚生病院	黒石市	上十三地域	35 十和田市立中央病院	十和田市
	5 ESTクリニック	弘前市		36 十和田第一病院	十和田市
	6 津軽三育医院	南津軽郡田舎館村		37 三沢市立三沢病院	三沢市
八戸地域	7 青森労災病院	八戸市		38 野辺地病院	上北郡野辺地町
	8 八戸市立市民病院	八戸市		39 十和田泌尿器科クリニック	十和田市
	9 八戸赤十字病院	八戸市		40 得居泌尿器科医院	三沢市
	10 メディカルコート八戸西病院	八戸市		41 のへじクリニック	上北郡野辺地町
	11 佐々木泌尿器科病院	八戸市		42 十和田北クリニック	十和田市
	12 八戸平和病院	八戸市	下北地域	43 むつ総合病院	むつ市
	13 三戸中央病院	三戸郡三戸町		44 大間病院	下北郡大間町
	14 南部町医療センター	三戸郡南部町		45 たなか泌尿器科クリニック	むつ市
	15 きどクリニック	八戸市			
	16 関口内科クリニック	八戸市			
	17 八戸泌尿器科医院	八戸市			
	18 青い森腎クリニック	八戸市			
	19 はちのへ99クリニック	八戸市			
	20 八戸新井田クリニック	八戸市			
	21 はちのへ江陽クリニック	八戸市			
青森地域	22 青森県立中央病院	青森市			
	23 鷹揚郷腎研究所青森病院	青森市			
	24 村上新町病院	青森市			
	25 青森市民病院	青森市			
	26 たざわクリニック	東津軽郡平内町			
	27 北川泌尿器科クリニック	青森市			
	28 あおもり腎透析・泌尿器科クリニック	青森市			
	29 青い海公園クリニック	青森市			
	30 しんまちクリニック	青森市			
	31 ミッドライフクリニックAMC	青森市			

資料：東北厚生局 届出受理機関名簿（令和5年9月1日）

## (2) 施策の方向性

### 【目的】

自覚症状が乏しい慢性腎臓病について、市町村等の関係機関と連携し、疾病に関する知識等の普及啓発や早期発見のための取組、生活習慣病対策を行うことにより、重症化予防に努めるとともに、慢性腎臓病の患者の生活の質の維持向上と健康寿命の延伸を図ります。

### 【施策の方向と主な施策】

- ・関係機関と連携し、早期発見の重要性、生活習慣改善による予防等について、県民への普及啓発に努めます。(県、市町村、保険者)
- ・早期発見や生活習慣の改善につなげるため、特定健康診査の受診勧奨や特定保健指導等の効果的な実施を図ります。(県、市町村、保険者)
- ・原因疾患の適切な管理による予防が可能な場合もあることから、かかりつけ医と関係機関が連携し、受診勧奨や重症化予防に努めます。(県、市町村、保険者、医療機関、関係機関)

特に、透析導入の主な原因疾患である糖尿病性腎症については、糖尿病対策（第2編第1章第4節に記載）として重症化予防に取り組んでいきます。

### 【数値目標】

項目	現状値	目標値	備考
糖尿病性腎症による新規透析導入患者数 (人口10万対)	15.6 (R3)	12.4 (R3 全国値)	第2編第1章第4節 「糖尿病対策」 第2-3「数値目標」10 と同一の指標